

US 短期高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり／年1回決算型)

<3195>

追加型投信／海外／債券

繰上償還 2019年12月3日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の短期ハイ・イールド社債等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	9,197円37銭
	純資産総額	0百万円
償還期	騰落率	△1.0%

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇TKU0319520191203◇

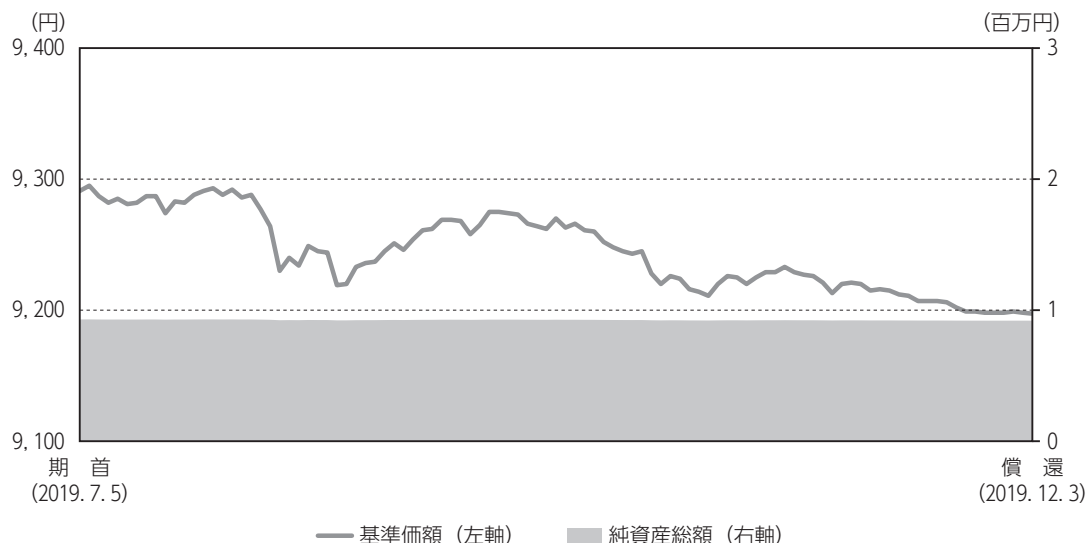
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期 首：9,291円

償還時：9,197円37銭

騰落率：△1.0%

■基準価額の主な変動要因

U S ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (円ヘッジ／N1クラス) を通じて、米国の短期ハイ・イールド社債等に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行った結果、投資している短期ハイ・イールド社債の上昇などがプラスに寄与しましたが、ファンド運用に関連する費用の影響などから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※U S ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (円ヘッジ／N1クラス)：ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ／プリンシパル・U S ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (円ヘッジ／N1クラス)

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 7. 6～2019. 12. 3)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	45円	0. 485 %	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 244円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0. 180)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0. 292)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合 計	45	0. 485	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

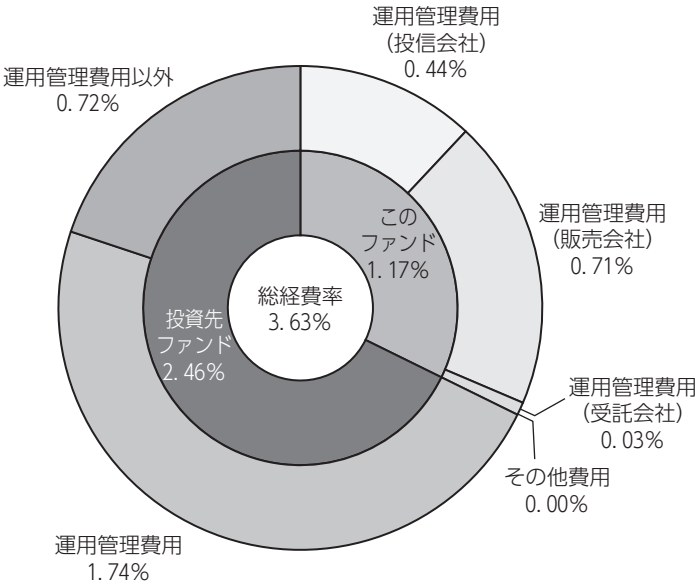
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.63%です。



総経費率（①＋②＋③）	3.63%
①このファンドの費用の比率	1.17%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.74%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.72%

（注 1）①の費用は、1 万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注 2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注 3）各比率は、年率換算した値です。

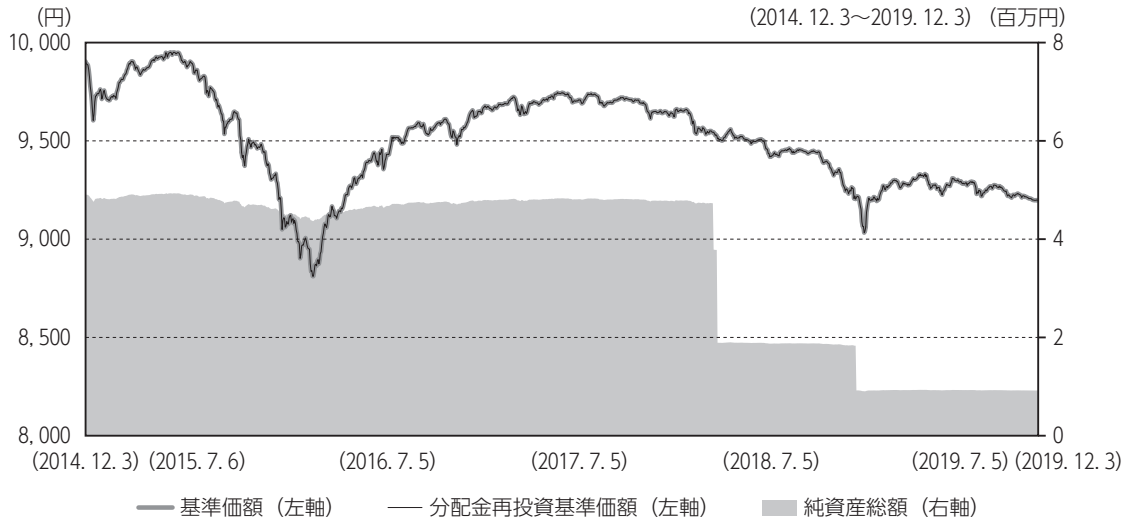
（注 4）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注 5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

（注 6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注 7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

	2015年7月6日 期初	2016年7月5日 決算日	2017年7月5日 決算日	2018年7月5日 決算日	2019年7月5日 決算日	2019年12月3日 償還時
基準価額 (円)	9,861	9,432	9,708	9,421	9,291	9,197.37
分配金 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△4.4	2.9	△3.0	△1.4	△1.0
純資産総額 (百万円)	4	4	4	1	0	0

(注 1) 比率は小数点第 1 位未満を四捨五入してあります。

(注 2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

設定以来の投資環境について

（2013. 12. 9 ～ 2019. 12. 3）

■米国ハイ・イールド社債市況

米国ハイ・イールド社債市況は、信託期間を通じておおむね堅調に推移しました。

米国ハイ・イールド債券市況は、当ファンド設定日より、投資家からの根強い需要に支えられながら、上昇基調となりました。2014年後半から年末にかけては、原油価格の下落などを背景に市況は軟調なパフォーマンスとなりました。2015年6月にかけては、原油価格が徐々に回復する中で市況は上昇しました。2016年2月にかけては、原油価格が下落に転じたほか新興国経済の減速が懸念され、中国の株安が世界的に波及するなど市場のリスク回避姿勢も強まり、市況は下落しました。その後は、英国のEU（欧州連合）離脱問題や米国の利上げへの警戒感などを受けて市場のリスク回避姿勢が高まる局面もあったものの、米国の景気回復と企業ファンダメンタルズの改善などを背景に、上昇基調で償還を迎えました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

US・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）への投資割合を高位に保つことによって、米国の短期ハイ・イールド社債等（※）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■US・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N1クラス）

米国の短期ハイ・イールド社債等（※）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

※短期ハイ・イールド社債およびバンクローン（貸付債権）をいいます。

信託期間中のポートフォリオについて

（2013. 12. 9 ～ 2019. 12. 3）

■当ファンド

当ファンドは、U S ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N 1 クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、信託期間を通じてU S ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N 1 クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■U S ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N 1 クラス）

米国の短期ハイ・イールド社債に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。また、米国のバンクローン（貸付債権）にも投資を行いました。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

信託期間中につきましては、経費控除後の配当等収益が少額または計上できなかったことなどから、収益分配を見送らせていただきました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



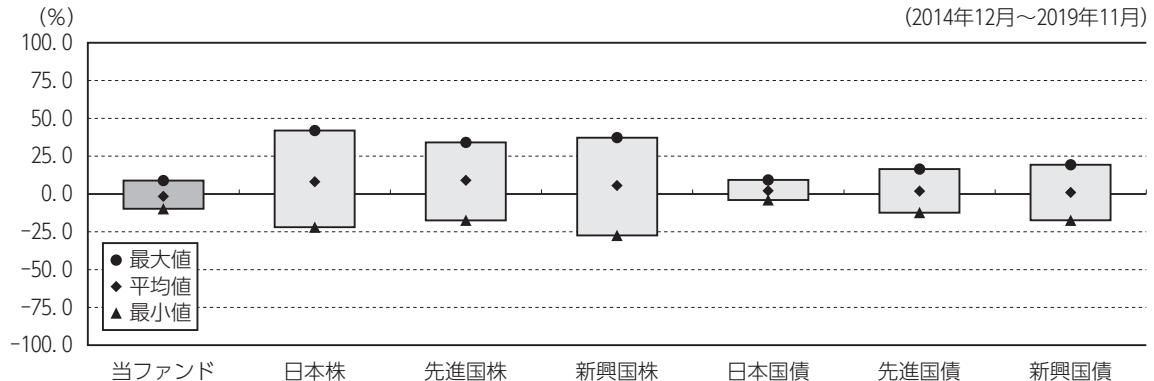
当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	約14年 7 カ月間（2013年12月 9 日～2028年 7 月 5 日）	
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／プリンシパル・U S ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N 1 クラス）」（以下「U S ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N 1 クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
当 ファンド の 運 用 方 法	①主として、U S ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N 1 クラス）の受益証券への投資を通じて、米国の短期ハイ・イールド社債に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。なお、米国のバンクローンにも投資します。 ②当ファンドはU S ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N 1 クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。U S ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N 1 クラス）への投資割合を通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ③U S ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円ヘッジ／N 1 クラス）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が 1 年未満、取得時において A – 2 格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2014年12月～2019年11月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	8.9	41.9	34.1	37.2	9.3	16.4	19.3
平均値	△ 1.6	8.1	9.0	5.5	2.1	1.8	1.0
最小値	△ 9.8	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去 5 年間における年間騰落率（各月末における直近 1 年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去 5 年間のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI 国債

先進国債……………FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLC が有しています。●J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	償 還 時
	2019年12月 3 日
純資産総額	919,737円
受益権総口数	1,000,000口
1 万口当り基準価額	9,197円37銭

- * 当期中における追加設定元本額は 0 円、同解約元本額は 0 円です。
- * 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。